



丸山 肇 議員

食の安全・安心で宣言や条例を

【問】国が取り組んでいる国際的な環境ホルモンの調査結果を入手した。高山の成績がよいので、その成績を生かして食の安全・安心の宣言や条例制定に取



水門 義昭 議員

豊かな心を育む教育や子育て支援

【問】しつけや生活習慣などの支援策は。【答】市内11カ所につどいの広場を設置し、気軽に育児相談や情報交換できる環境整備など、成長に合わせた支

り組んでほしい。取り組み組めば、産物の付加価値をPRするために良い材料となつて、農業や観光など多方面で高山市の業界を潤せる。【答】規範づくりに異存は無く、前向きに検討する。

伝統的食文化を保護して

【問】伝統的な食文化は「健康に良い食」として再評価ができる。私は、文学的な側面か

援をしている。

【問】新たな子ども教育連絡会議の内容は。

【答】学校が呼び掛け役となつて、地域・家庭・学校・行政などが連携して地域の教育力を高め子育てできる体制を再構築する。【問】豊かな心の視点から芸術文化振興は。

【答】小学校6年生を対象としていた芸術鑑賞事業の拡大や、新たに飛騨高山国際芸術祭の開催など、さらに推

ら料亭の評価を試みたことがある。飲食業界を持続可能にするために、次には、科学的数値の提示ができる行政のバックアップをしてもらいたい。

【答】数値の提示は、生活習慣病患者や外国人の食事に役立つ。専門的な分析作業などが

必要なので、方法は検討課題とする。

進する。

建設業の振興・活性化策

【問】入札制度の改正は。

【答】①総合評価落札方式本格実施②一般競争条件を市内に本店を有する事業者に拡充③最低制限価格の見直し④工事費設計内訳書の公開。

【問】市長の考えは。

【答】利益が上がる産業構造の構築に努力する。



岩垣 和彦 議員

新年度予算の考え

【問】積極財政の考えはどこに表れているのか。

【答】海外戦略室や地場産品の販路拡大、観光団体への助成、エコ住宅の促進など積極的な配分とした。



小井戸 真人 議員

予算の編成方針

【問】地方交付税の予算決算の差が大きい。地方交付税を見積もる考え方は。

【答】地方交付税は確実に見込める額を計上しているが、年度途中の国の対応などによ

税制改正による影響と市民所得の推移

【問】市民の所得階層の実態は。

【答】平成21年における給与所得者のうち、年収300万円以下が46%となり、低所得階層へシフトしている。

【問】法人市民税改正による影響額は。

【答】平成24年度以降は、5100万円の減収を予想する。

り、結果として差が出ている。

【問】合併特例終了後の高山市財政を、どのように想定しているのか。

【答】合併特例終了後は、地方交付税で36億円、臨時財政対策債で11億円の減収となることから、将来にわたつて健全な財政状況となるように努めていく必要がある。

地方自治法改正案

【問】議長へ議会招集権を付与する考えは。

【答】首長が招集義務を果たさない場合はやむを得ない。

損害賠償請求事件

【問】市の検証結果と再発防止策は。

【答】危機管理室を設置し正しい行政判断が行えるよう、体制づくりに取り組む。

国勢調査人口速報の集計結果

【問】高山市の人口減少は深刻な問題となっている。現状と対応策は。

【答】本格的に大きな人口減少が始まったと受け止めている。人口減少に関して、市で行える総合的な対策について全庁的に連携しながら取り組んでいく。